

# 武蔵野市文化振興基本方針の策定目的と取り扱う視点(論点)

## ■武蔵野市の文化的な要素

### 【市立施設】

- 音楽を楽しむことのできるホール(武蔵野市民文化会館)
- 各駅からアクセスのよい多目的ホール(武蔵野公会堂、武蔵野スイングホール、武蔵野市民会館)
- 演劇、芸能などの劇場施設(吉祥寺シアター、武蔵野芸能劇場)
- 美術館(吉祥寺美術館)
- 駅勢圏で設置された3つの図書館(中央図書館、吉祥寺図書館、武蔵野プレイス)
- 地域の歴史を学ぶことができる施設(武蔵野ふるさと歴史館)
- 伝統文化の活動ができる和室を有した施設(松露庵)
- 市民の会合に利用できるスペース(かたらいの道市民スペース)
- 市民が管理・運営するコミュニティセンター

### 【その他の文化的要素】

- ホール、美術館等で文化事業を企画運営する(公財)文化事業団
- 緑が豊かな井の頭恩賜公園
- 玉川上水など、市内各地の整備された緑のエリア
- 雑多な雰囲気が残るハモニカ横丁をはじめとする商業地(吉祥寺)
- 吉祥寺に店舗を構えるライブハウスやジャズ喫茶
- 市内各所のアートギャラリー
- 井の頭恩賜公園での様々なイベント
- 商業者や民間企業等による様々なイベント
- コミュニティセンターにおける文化に関するイベント
- NPOやサークル等、市民による文化活動
- 市内に住む多くの文化人(俳優、漫画家、音楽家等)
- 市内で事務所を構えるアニメ関連企業
- 市内および近郊にキャンパスを構える5つの大学
- 地域の祭りなど

## ■関連する武蔵野市の主な計画と文化振興基本方針の関係性

### 1. 第五期長期計画・調整計画

文化に関しては、文化・市民生活の категорияに位置づけられ、「市民による様々なコミュニティ活動等が行われており、多様な市民文化が発展を遂げてきた。また、商業地の形成、緑を大切にしている意識の継承、文化施設の整備、質の高い芸術文化の創造・発信、市内及び近接する5つの大学の存在、創造的なクリエイターや研究者の居住・集積、それらを支える事業者の展開など…様々な要素により都市文化を形成してきた。」という認識の下、さらなる醸成を目標として、右の基本施策を位置づけている。

#### 基本施策 市民文化の醸成

- (1)文化振興に関する方針の策定
- (2)文化施設の再整備
- (3)東京オリンピック・パラリンピックを見据えた文化交流の促進
- (4)魅力ある都市文化の発信と都市観光の推進

内容の整合性

### 文化振興基本方針

**策定の目的** 文化の振興および文化の波及効果を活かした地域の持続的発展を目指すため、武蔵野市における文化施策を体系化し、施設整備を含めた、おおよそ10年程度の方向性を示す。

文化的要素の取り扱いについて役割分担

### 2. 武蔵野市生涯学習計画

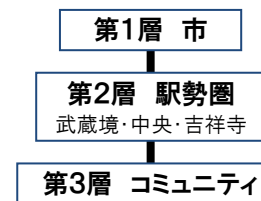
文化の体験の機会提供を事業として位置づけている。市民による文化活動についても位置づけているほか、大学との連携事業や町場での商店会等の事業を「武蔵野らしい文化」として位置づけている。

### 9. 武蔵野市公共施設等総合管理計画

公共施設再編計画の基礎となる内容だが、合理化だけでなく、施設があることで生まれるまちの魅力や都市文化も重視し、今後の都市戦略とともに検討する視点を示している。

#### 三層構造による市立施設の整備

市では1970年代から、「市全域レベル」「駅勢圏レベル」「コミュニティレベル」の3つのレベルごとに必要な施設を整備してきた。劇場・ホール等は駅勢圏レベルに位置する。



### 3. 第二期武蔵野市学校教育計画

学校における文化の体験や部活動の取組等を、「豊かな心や感性を育む教育」の一部に位置づけている。

### 4. 第四次子どもプラン武蔵野

子どもの成長・自立のための文化の体験や活動を、スポーツ・学習と並んで位置づけている。

### 5. 武蔵野市高齢者福祉計画

### 6. 武蔵野市障害者計画

高齢者の健康的な生活や障害者の自己実現・社会参加のための文化事業や活動支援を事業として位置づけている。

### 7. 武蔵野市図書館基本計画

武蔵野市立図書館が目指す将来像のひとつとして、「人々が交流し文化を創造する地域拠点としての図書館」を挙げている。

### 8. 武蔵野市スポーツ振興計画一部改定

オリンピック・パラリンピックが文化の祭典であるという認識の下、スポーツ施策と文化施策の連動を図り、市民文化の醸成につなげることを教育委員会の取組として位置づけている。

#### 東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた武蔵野市の取組み方針

- (1)まちの魅力の再発見と国内外への発信を通して、市民の力が活かされるまちづくりを進めます。
- (2)スポーツや文化を通じた感動や交流により、一人ひとりを大切にし、多様性を活かす市民文化を育みます。
- (3)誰もがまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくれます。

## ■方針で取り扱う視点(論点)

アンケートでは、市民活動や生涯学習といった文化施策と近接する施策領域、また緑や景観、吉祥寺を中心とする商業地についても、武蔵野市の文化として捉えられていました。

また、左記に示されるように各個別計画においても様々な文化の要素が求められています。

こうしたことから、既存の計画では十分に取扱いされていない文化に関する施策や市立施設を第一に考え、次の視点から方針を検討したいと考えます。

### 視点 文化に関する施策の方向性やあり方

これまでの施策の成果を確認し、その上で今後の方向性について検討します。

その際、文化に直接関係する施策だけでなく、他領域における施策における文化的視点や文化的要素へのニーズを把握し、波及効果のあり方についても検討します。

⇒論点(1)文化政策に対する評価及び課題

ア)文化の振興

イ)多分野における文化の波及効果

### 視点 市立施設(特に劇場・ホールなど文化施設)の役割

文化施設に求められる機能と役割について、類型別施設整備計画の策定につながる視点や考え方を整理します。

⇒論点(2)文化施設の位置づけ

### 視点 文化振興の担い手となる主体の範囲や役割

市のみならず、武蔵野文化事業団、市民の役割について検討します。また、民間事業者についても、関係性や連携について考えます。

⇒論点(3)市民文化の醸成及び都市文化の発展に係る各主体の役割(市、文化事業団、市民、民間事業者)